2024年度 事業報告

当会が2024年4月1日から2025年3月31日までに実施した事業についてご報告致します。引き続き、潤いのある地域環境づくりに向けて、一般市民や行政の方々と共に、桜の名所づくりや花のまちづくりなどの事業を展開致しました。

１．桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進（国土緑化）

1）桜の名所づくり

①桜苗木の生産と配布

美しく潤いのある地域環境づくりの推進を目的に、桜苗木の生産と配布を継続し、地元行政や地域住民と一体となった新しい桜の名所づくりを進めました。特に桜苗木の配布に当っては、植栽面積や植栽間隔が充分確保されているか、植栽後の維持や管理体制が明確になっているか、などについて確認したうえで実施しています。引き続き自治体や地域住民と一体となって、桜の名所づくりを支援していきます。

②さくらコンシェルジュ

新しい桜の名所をつくりたい、自分達で植栽した桜を健全に育て新しい名所にしたい、あるいは既存の桜の名所を守り後世に伝えたい、といった地域住民団体等の要望に積極的に応えるため、当会研究員を計画的に現地へ派遣しました。埼玉県久喜市、千葉県鋸南町において、住民団体の皆さんと一緒に、桜の育成・再生・保全活動を展開しました。今後も計画的に現地に出向き、支援を行っていきます。

③桜を通じた災害復興支援

桜を通じた災害復興支援は14年目となり、これまでに累計7,000本以上の桜苗木を無償で提供するとともに、品種の選定や復興計画の進捗に合わせた植樹、植栽後の剪定・保全管理などの技術指導を行っています。

東日本大震災の被災地では、宮城県女川町、宮城県石巻市、宮城県仙台市などで、座学講座や接木講座、植栽の指導等を行ってきましたが、いずれも当会研究員による定期的な訪問指導は終了しました。昨年度以降、先方の要望に応じて適宜アドバイス等を行う体制としています。

2019年に台風の被害を受けた千葉県鋸南町では、当年度も講習会や技術指導を行い、支援を継続しています。

2）桜苗木の受託生産と育苗

地方自治体、団体や個人等から委託を受けて、その地域に由来のある桜や地元で愛されている桜の苗木を、接木により生産・育苗し、貴重な桜の後継樹の育成を支援するとともに、桜の名所づくりを推進しています。

当年度は、静岡県三島市の国立遺伝学研究所、東京都八王子市の森林総合研究所多摩森林科学園、長野県伊那市等から555本の生産委託を受けました。

3）花のまちづくり

花のまちづくりは、単に花壇を作ったり街路を花で飾ったりすることにとどまらず、「花が持つ力」を活かして、花や緑でよりよい生活環境を作り、生き生きとしたまちにしていく活動です。

山口県上関町からは、「花咲く海の町・上関」推進委託事業を引き続き受託しました。河津桜と水仙をコラボ植樹した城山歴史公園は、立派な観光資源となっています。地元で生産した花苗の配布事業を通じた市街地での花壇整備、日本水仙の名所復活事業の指導に加え、花づくり講習会や花育授業に取り組みました。

静岡県熱海市からは、「熱海花のまちづくり」計画に関連する事業を引き続き受託しました。海岸沿いのジャカランダ遊歩道内の花壇や市庁舎前の花壇など、公共花壇でのボランティア団体への植付け指導に加え、2024 年度は、熱海桜の「糸川遊歩道」植栽改修設計業務も引き続き受託し、実施設計を行いました。

2．桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣や講座・シンポジウム等の開催（普及啓発）

1）講師派遣

当会は、地方自治体や住民団体等が開催する講演や勉強会に、研究員を講師として派遣しています。

当年度、桜に関しては、長野県の「中野市桜守の会」主催の講習会、北海道の「緑いっぱい市民運動世話人会」主催講習会、都内舎人公園で開催されている桜観察会での桜ガイドなど、合計27回の講習や講演、指導を行い、840名の方に参加頂きました。

花のまちづくりに関しては、富山県の「(公財) 花と緑の銀行」主催の講演会、山口県の「上関町役場」主催の講習会、当会結城農場での日本園芸療法研修会など、合計 19 回の講習や講演や指導を行い、906 名の方に参加頂きました。

2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

①サクラ保全管理講座の開催

桜の樹勢回復や病害虫対策などの技術的・科学的分野、桜に関する歴史・文化等の分野、桜守等住民活動の分野に関する「サクラ保全管理講座」を、11 月 13 日に東京都内、日比谷図書文化館で開催しました。

今回は、①「クビアカツヤカミキリの防除対策」について、栃木県足利市生活環境政策課：松島一司氏に、②「水戸桜川と水戸藩のサクラ」と題して、水戸桜川日本花の会代表幹事：稲葉寿郎氏に、③「開園 100 周年にナショナルコレクション認定された京都府立植物園の桜」と題して、京都府立植物園技術課：中井貞氏に、それぞれご講義頂きました。

樹木医や桜愛好家など 61 名が会場で、100 名がウェブ配信でそれぞれ受講されました。

②全国さくらシンポジウムの開催

桜の維持保全活動推進、桜に対する住民意識の喚起、NPO やボランティアのモラールアップ等を目的に、第 43 回全国さくらシンポジウムを 2023 年 4 月 4 日、5 日に茨城県桜川市で開催しました。1 日目は、県立真壁高等学校生徒と日本樹木医会茨城県支部長：古谷孝行氏による活動事例報告（天然記念物の桜の樹勢調査）桜川日本花の会代表：磯部亮氏による活動事例報告（櫻川保勝会の活動)、水戸桜川日本花の会代表幹事：稲葉寿郎氏による講演（桜川・千三百年の桜文化史)、森林総合研究所：勝木俊雄氏による講演（桜川のサクラの種類）および交流会が行われました。2 日目は、櫻川磯部稲村神社、磯部桜川公園の他、当会結城農場などの見学会を実施しました。大会全体で 345 名の方に参加頂きました。2025 年度は 4 月 4 日、5 日に岐阜県恵那市において開催し、2026 年度は千葉県八千代市で開催する予定です。

③学び舎の桜プロジェクト

学校にある桜に触れる原体験を通して、桜への興味や関心を深めてもらい、将来、桜保全や樹勢回復等桜を守る活動に携わってもらえる人材を育成することを目的に、小学校児童や中学・高校生を対象として桜に関する授業や樹勢回復の指導を行っています。

当年度も、2010 年から活動している福井市立春山小学校、2011 年から活動している埼玉県日高市立高麗川小学校の他、都内江戸川区立鎌田小学校・下鎌田西小学校、神奈川県立相原高等学校で活動を行いました。

3）花のまちづくり運動の普及啓発

①全国花のまちづくりコンクールの実施

1990 年に開催された「国際花と緑の博覧会」の基本理念“人間と自然の共生”を継承・発展させる事業として、1991 年から毎年「全国花のまちづくりコンクール」を実施しています。花の社会性（花が社会に及ぼすプラスの影響）の向上を目指し、優れた花のまちづくり活動（地域の環境づくり・コミュニティ形成に貢献する活動）を表彰しています。

（公財）国際花と緑の博覧会記念協会、（公財）都市緑化機構、（一財）日本花普及センターと当会で構成される花のまちづくりコンクール推進協議会が主催し、当会が事務局として運営しています。当年度も、第 34 回全国花のまちづくりコンクールの事務局として、質的充実を図ると同時に効率的な運営に努めました。大臣賞受賞者については、その活動内容がわかる資料や動画をホームページで掲載して幅広く紹介しています。

②全国花のまちづくり地方大会

全国花のまちづくりコンクールの関連イベントとして、花のまちづくりの普及啓発を目的に、花のまちづくりコンクール推進協議会が自治体と共同で毎年開催する「全国花のまちづくり地方大会」に、事務局として参画しています。

当年度は、第 30 回全国花のまちづくり小松大会を、5 月 25 日、26 日に石川県小松市で開催しました。1 日目は、地元で活動する NPO 法人や町内会の皆さんによる事例発表、公立小松大学国際文化交流学部准教授：木村誠氏による地域研究発表、北海道恵庭花のまちづくり推進会議会長：内倉真祐美氏による先進事例発表、庭師・俳優の村雨辰剛氏によるトークショーが行われ、2 日目には、木場潟公園東園地、那谷寺、苔の里などの現地見学会が行われました。大会全体で 537 名の方に参加頂きました。2025 年度は 5 月 31 日、6 月 1 日に第 31 回大会を静岡県牧之原市で開催し、2026 年度は第 32 回大会を北海道恵庭市で開催する予定です。

③「こまつの杜」（石川県小松市）での花育

石川県小松市の「こまつの杜」で 2015 年から行っている花育活動に、当会職員が講師として参加しています。

当年度も、小松市内の認定こども園と幼稚園、計 4 カ所の園児約 150 名を対象に計 7 回の授業を実施し､園児のご家族にも多数参加頂きました。また、小松駅前道路の「ナチュラルガーデン」では、ガーデン観察や種取りを実施しました。

子供たちが自ら「育てる楽しさ、花咲くよろこび」を感じられるよう、小松市の職員ならびに NPO 法人みどりのこまつスクスク会の皆さんと連携し、活動を継続しています。

4)屋上緑化

ビル屋上の緑化事業として実施してきたコマツビル屋上庭園の維持管理については、コマツビル建て替えに伴い、2023 年 12 月をもって一旦終了しております。八重紅枝垂など、コマツビル屋上庭園の植物は、可能な限り当会結城農場に移植し、2026 年末完成予定の新コマツビル屋上庭園への復植を目指して、維持管理を行っています。

3. 桜の品種特性や樹勢回復についての研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導（試験研究）

1）自主研究

①桜の品種特性に関する調査研究

桜見本園で収集保存している約 400 品種の桜について、品種特性の画像データ化やホームページ等での情報公開を進め、多様性のある桜に対する世間一般の認識向上に努めています。

②桜の樹勢回復に関する研究

結城農場に隣接する桜見本園の桜を利用した樹勢回復の試験研究を継続し、全国各地の桜の保全に活用できるよう､引き続き技術力向上に努めています。

2）受託研究

①桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

桜の名所づくりや樹勢回復に関する事業を自治体等から受託して調査研究を行い、剪定、病害虫駆除、施肥など、樹勢回復の提言と指導を行っています。当年度は、下記の受託案件に引き続き取り組みました。

・埼玉県幸手市：県営権現堂公園での桜の樹勢回復作業
・長野県須坂市：臥竜公園での桜の樹勢回復指導
・山梨県富士吉田市：新倉山浅間公園 桜の樹勢回復工事
・群馬県藤岡市：国指定天然記念物 三波川（サクラ）の樹勢回復作業

期末後援会員数（2025年3月31日現在）

法人会員：250　　個人会員：1,148　　合計：1,398

以　上